

単元（章）の目標と評価規準（3・4年）

単元（章）名	1単元（章） けんこうな生活	教科書のページ	p.6～25
配当時数	4時間	学習指導要領の内容	第3学年および第4学年 G保健（1）

単元（章）の目標	健康な生活に関する課題を見つけ、よりよい解決に向けて考える活動を通して、健康の状態には主体の要因や周囲の環境の要因が関わっていること、また、健康を保持増進するには、運動、食事、休養および睡眠の調和のとれた生活など1日の生活の仕方が深く関わっていること、体を清潔に保つことや生活環境を整えることが必要であることを理解できるようにする。			
	単元（章）の観点別評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各時の学習活動に対応した観点別評価規準	第1時	心や体の調子が良いなどの健康の状態は、主体の要因や周囲の環境の要因が関わっていることを、言ったり書いたりしている。	健康の状態に関わる要因から、健康な生活について課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを発言したり伝え合ったりしている。	[全時共通] ①学習内容に関心をもち、よりよく学ぼうとする意欲をもって、学習に粘り強く取り組もうとしている。 ②他者の考えも受け入れながら進め方を工夫改善するなど、自らの学習を調整しようとしている。
	第2時	毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養および睡眠の調和のとれた生活を続けることが必要であることを、言ったり書いたりしている。	1日の生活の仕方から、健康な生活について課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを発言したり伝え合ったりしている。	
	第3時	毎日を健康に過ごすには、体の清潔を保つことなどが必要であることを、言ったり書いたりしている。	体の清潔から、健康な生活について課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを発言したり伝え合ったりしている。	

	第4時	<p>毎日を健康に過ごすには、明るさの調節、換気などの生活環境を整えることなどが必要であることを、言ったり書いたりしている。</p>	<p>明るさや換気などの生活環境から、健康な生活について課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを発言したり伝え合ったりしている。</p>	
観点別評価の基本的な考え方と方法		<p>知識および技能の習得状況について評価するとともに、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念（原理や原則）等を理解しているかについて評価する。</p> <p>評価は、ワークシート・ノートなどの記録や小テスト、まとめの単元（章）テストなどを基にして、単元（章）を総合して行う（必ずしも毎時間に評価する必要はない）。</p>	<p>知識および技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかを評価する。</p> <p>評価は、ステップ2「調べる・解決する」およびステップ3「深める・伝える」の場面を中心に、発言の内容やワークシート・ノートなどの記録の内容、レポートなどを基に各時の資料を蓄積し、単元（章）を総合して行う。</p>	<p>①学習内容に関心を持ち、知識および技能の獲得や思考力・判断力・表現力等を身につけるため、よりよく学ぼうとする意欲をもって、学習に粘り強く取り組みようとする側面と、②他者の考えも受け入れながら進め方を工夫改善するなど、自らの学習を調整しようとする側面から判断して、単元（章）を通して総合的に評価する。</p> <p>評価は、①、②それぞれの側面から、または一体的に、各時の学習活動への取り組みや態度で特記すべきことなどを記録し、資料を蓄積して、単元（章）を総合して行う（必ずしも毎時間に評価する必要はない）。</p>

単元(章)名	2単元(章) 体の成長とわたし	教科書のページ	p.26～42
配当時間	4時間	学習指導要領の内容	第3学年および第4学年 G保健(2)

単元(章)の目標	体の発育・発達に関する課題を見つけ、よりよい解決に向けて考える活動を通して、体が年齢に伴って変化すること、体の発育・発達には個人差があること、思春期になると体に変化が起こり、異性への関心も芽生えること、体の発育・発達には適切な運動、食事、休養および睡眠が必要であることを理解できるようにする。			
	単元(章)の観点別評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各時の学習活動に対応した観点別評価規準	第1時	体は、年齢に伴って変化すること、また、体の発育・発達には、個人差があることを、言ったり書いたりしている。	年齢に伴う体の変化から、体の発育・発達について課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを発言したり伝え合ったりしている。	[全時共通] ①学習内容に関心をもち、よりよく学ぼうとする意欲をもって、学習に粘り強く取り組もうとしている。 ②他者の考えも受け入れながら進め方を工夫改善するなど、自らの学習を調整しようとしている。
	第2時	体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わり、初経、精通などが起こることを言ったり書いたりしている。	思春期における体つきや体の働きの変化から、体の発育・発達について課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを発言したり伝え合ったりしている。	
	第3時	初経、精通などが起こる時期には個人差があること、また、思春期には異性などほかの人への関心が芽生えることを、言ったり書いたりしている。	思春期における体の働きや心の変化から、体の発育・発達について課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを発言したり伝え合ったりしている。	
	第4時	体をよりよく発育・発達させるには、適切な運動、食事、休養および睡眠が必要であることを、言ったり書いたりしている。	体のよりよい発育・発達について課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを発言したり伝え合ったりしている。	

観点別評価の基本的な考え方と方法

知識および技能の習得状況について評価するとともに、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念（原理や原則）等を理解しているかについて評価する。

評価は、**ワークシート・ノートなどの記録**や**小テスト、まとめの単元（章）テスト**などを基にして、単元（章）を総合して行う（必ずしも毎時間に評価する必要はない）。

知識および技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかを評価する。

評価は、ステップ2「調べる・解決する」およびステップ3「深める・伝える」の場面を中心に、**発言の内容**や**ワークシート・ノートなどの記録**の内容、**レポート**などを基に各時の資料を蓄積し、単元（章）を総合して行う。

①学習内容に関心をもち、知識および技能の獲得や思考力・判断力・表現力等を身につけるため、よりよく学ぼうとする意欲をもって、学習に粘り強く取り組もうとする側面と、②他者の考えも受け入れながら進め方を工夫改善するなど、自らの学習を調整しようとする側面から判断して、単元（章）を通して総合的に評価する。

評価は、①、②それぞれの側面から、または一体的に、**各時の学習活動への取り組みや態度で特記すべきことなどを記録**し、資料を蓄積して、単元（章）を総合して行う（必ずしも毎時間に評価する必要はない）。